

平成 29 年度南予地方局予算の実施状況 (H30. 3. 31 現在)

- 1 予算事項名 食用ホオズキの郷づくり事業費
- 2 事業期間 平成 29 年度～平成 31 年度
- 3 所 管 産業経済部産業振興課地域農業室

4 事業概要

鬼北地域では、「鬼」にちなんだ食用ホオズキの栽培が試みられ、いやしの南予博でのPRイベントも好評であったが、地域に合った品種や栽培技術が確立されておらず、消費者の認知度も低い。

そこで、振興組織を設けて、機能性を活かした戦略を検討し、品種選定や技術実証を行い栽培マニュアルを作成する。また、PR活動や加工品開発を推進して、農業経営の補完や地域活性化に寄与する新たな地域特産品として育成し、地域の活性化を図る。

	平成 29 年度
予算額	1,615 千円

5 29 年度の事業実施状況

(1) 食用ホオズキの生産振興

①食用ホオズキ推進協議会の設立

- ・鬼北地域の新たな地域特産品として育成することを目的に鬼北農業指導班において「食用ホオズキ推進協議会」の設立会議を開催した。構成メンバーは、食用ホオズキ生産者代表、松野町、鬼北町、JA えひめ南、南予地方局担当者



食用ホオズキ推進協議会(H29.4.21)

②情報収集活動の実施

- ・食用ホオズキ栽培における栽培上の課題や販売における現状について、生産者と行政・団体関係者の計5名が富士見スカイファーム(長野県富士見町)で先進事例研修を実施した。



先進事例調査-長野県富士見町(H29.6.29～30.)

③成分分析の実施

- ・食用ホオズキ(4品種)の栄養成分について分析を実施。従来種(鬼あかり)と栄養価の差異が無いことを確認し、有望品種として食味の良い2品種(鬼あかり、太陽の子)を地域要望品種として選定した。

(2) 食用ホオズキ栽培技術の実証

①技術実証圃設置

- ・既存品種と先進地等で栽培している品種を比較し、鬼北地域に適した品種の選定及び栽培マニュアルの資料とするため4品種を栽培し生育調査を実施した。
夏季の高温により、2品種に枯れ上がりや奇形果が発生。

(3) 食用ホオズキ広報・加工事業

①広報活動支援

- ・鬼灯まつりの開催(H29.8.5)
地域への食用ホオズキのPR活動として地域活性化グループ(鬼北発掘隊)と生産者が協力して「鬼灯まつり」を直売施設で開催。行政関係者のほか、町内団体等多数の支援を受けることができた。



第3回鬼灯まつり-灯の祭典-
雨の合間に一般客やイベント参加者がホオズキ
や加工品を購入

一般客にホオズキの説明をする生産者。



品種比較 既存品種と一般品種の比較

写真左:有望品種①(太陽の子)。写真右:従来種(鬼あかり。多年草)



定植3か月後の状況。
既存品種に比べ「太陽の子」は
葉数が少なく、開花も遅れる。



ハウスで、冬になっても順調に成長する従来種。
大きな実(10g/個)が多く、有望な作型としてハウス
(無加温)を利用した新たな作型を検討する。